



発行所
 宗教法人 寶生教大阪本部
 大阪市西区北堀江3丁目10番
 電話 06(6531)6722
 FAX 06(6531)6152
 ◎ (非売品)

3月号

自家成立の
 根源は和にあり
 秩序の根源は
 神祖崇敬より

ご教話 神道の国、日本

建国記念祭



建国記念祭、ご教話なさる大阪本部長様

皆様こんにちは。大変お寒い中をようこそご参拝下さいました。
 扱、本日は建国記念祭。二六七九年前の今日、「初代神武天皇、神倭磐余彦命、辛酉之歳春、庚辰之朔日、橿原宮二即位ス」という日本書紀の記述により、日本の建国は、二月十一日と定められているのです。
 ここで、『古事記』や『日本書紀』といった歴史書の

記載を見てみましょう。例えば『古事記』には次の様にあります。
 「かく荒ぶる神どもを言向け平和し、伏はぬ人どもを退け撥ひて、畝傍の白檮原宮に座坐して、天の下治らしめしき。」
 この様に『古事記』には日付についての記述がありません。しかし『日本書紀』には、先程申しました様に、「辛酉之歳春、庚辰之朔日、

橿原宮二即位ス」とあります。これに因って、日本の建国記念の日が二月十一日とはっきり決まっているわけでございます。
 初代神武天皇が橿原宮で即位された瞬間が、我々の祖国、日本の建国の瞬間なのです。『古事記』という歴史書が語っている物語は、正に、日本の建国の物語とも云えるのです。
 その時に誕生した大和王朝、後に大和朝廷へと発展して以来、一度の王朝交代も無く、現在に至るまで繋がっております。
 そして、二六七九年前に即位された神武天皇から、一五五代の今上天皇に至るまで、万世一系の男子たる直系によって連綿と皇統が続いているのです。
 三千年に垂んとする日本国家の歴史の中で誕生し、



建国記念祭、祭主祝詞奏上

育まれ、今日この瞬間まで続いている日本人の精神、文化、正義。
 又、目に見えるものだけ



奉納神楽「浦安の舞」
舞人 木本晴子さん、柴垣敬美さん

祭大例之春

大阪本部
 四月十四日(日)
 大祭典 午前十時執行
 神輿巡行 午後一時半出発

御本宮
 四月七日(日)
 養老教会
 四月二十一日(日)
 西播教会
 四月二十九日(祝)

では無く、命とは何なのか、人の死とは何なのかといった考え方や、大切なお祖先のお付き合いの方法。
 更には、自然との共生、自然の気の巡りから考えられた暦や方位。それら総てをひっくるめて「神道」であり、正に私共の信仰する寶生教の教えでございます。
 神道とは外国の諸宗教の祈願致しております。

ように、又現代の人達が単に考えている宗教というものの中に収まるものではありません。
 私達日本人にとって無くてはならないものでありますし、決してこの神道を無くしてはいけなないと信じております。

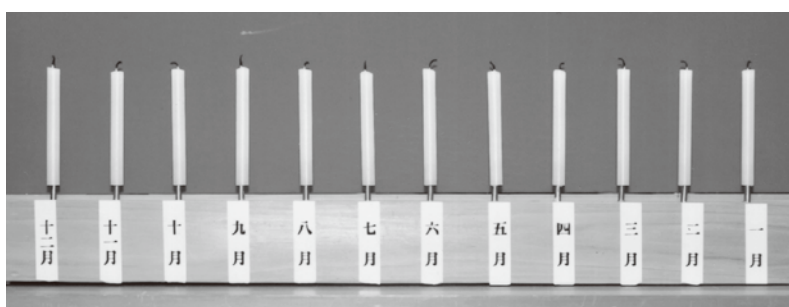
本日は日本の礎を築かれた神武天皇のご偉業を称え、又これまで日本を守ってこられた先人、諸先輩方に感謝し、国を守り続けて下さる日本の神々のご守護に感謝申し上げる日でもあります。

健全なる日本国家が存在しているからこそ、日々、しあわせに生活が出来ることに感謝し、国家の繁栄、皇室家のご安泰、又、来る五月一日に即位されます、新天皇の御代のご発展と、教信徒皆様のご健康と各家の更なる自家成立を、心より

話 教 大 神 様、ご 祖 先 に
ご 教 感謝 し、お 仕 え す る
節 分 祭

皆様こんばんは。本日は冷たい雨の中、節分祭、ようこそ御参拝くださいました。本日の祭典は、厄除祈願祭ということで、特に厄年の皆様の厄除け祈願が主でございます。

厄年とは、人間の一生の中で、厄に遭う恐れが多い



節分祭・五穀の出来高を示すお蠟燭
概ね平年並

ので、忌み慎むべき年であります。長い人生山あり谷ありですよ。

厄年は、精神的にも、身体的にも大きく変化する年であり、社会的にも、又家庭内でもそれぞれに変化のある時期でもあります。



節分祭・奉納神楽「剣・鉾の舞」
舞人、柴垣敬美さん、柴垣裕美さん
森 彰子さん、木本富子さん

この様な時期に、先ずは健康が保てるように、そして又、総てのことに感謝の念を忘れず、慎み深い人間性を失わないために、自らの人生を見つめ直すといった意味合いの

御神幣により特別祈願を受ける厄年の方々。



ある年でもあります。

本日、大神様にしっかりとご祈願致しまして、大きなご守護を頂かれるわけでございます。ですから、厄年だからといって恐れることはありません。

大神様、ご祖先様に対する感謝の心を何時も忘れず、しっかりとお仕えされれば、幸いが多く訪れる年でもある。これが寶生山八津御嶽大神様のご守護であります。

話 教 神 道 と は、日 本 人 の 当 たり 前
祭 節 分 祭
(1月15日)

皆様こんばんは。早くも年が明けて十五日が経ちまして、今日は「小正月」と

も云われております。元旦祭より連日、熱心にご参拝頂きまして、誠に疲れ様でございます。

御本宮 月並祭

毎月第一日曜日 午前十一時半より

ます。一月十日の産経新聞の「正論」に、東京大学の平川祐弘名誉教授が、「神道を評価する時代の訪れを祝う」という題で寄稿しておられました。この記事が、「神道とは何ぞや」ということを端的に表現されておりましたので、ご紹介致します。

「あら尊と
青葉若葉の
日の光」

まず、皆様は他人から「あなたは何を信仰されていますか」と聞かれた時、或いは「あなたの信仰している神道とは何ですか」と聞かれたとき、自分の言葉で説明することが出来るでしょうか。理解しているつもりでも、人に説明するのは中々難しいという方も居られるかも知れません。そこで、この記事は是非参考になさって下さい。

「祖先を祀り御霊を敬う日本」
「その見方に対し土着宗教の重要性を説いた人はハイン（小泉八雲）で、神道的な日本を『霊の日本』と呼び、魂（たま）祭りなどの風俗や怪談など日本人の『あの世』を探った。先祖を神棚に祀り、その御霊を敬う日本を『神国』と呼んだ。
その日本人の宗教感情は『元日や
一系の天子

不二の山』の句に示される。脳内白人化した人にはどうとうことはない。だが列車から富士山を見ると心が動く。元日には柏手を打つ。天皇様が代々続くことに民族の永生を感じる。（中略）

米軍は昭和二十年四月、明治神宮を焼夷弾で焼き払った。そして敗戦後『神道

指令』で国家神道の解体を命じた。

(中略)

神道は国家神道とされたというが、戦争中、国公立の小中学校に神道の授業はない。

習わないから『神道とは何か』と聞かれてもたいていの人は答えられない。だが国の財政援助がなくとも神道は生きている。」

例えば伊勢の神宮。こちらは国から予算をもらい、年中行事、日々のお祀りをしておられるというわけではありません。米や野菜などのお供え物やそれをお供えするための器類、そして御神殿に使用する材木等に至るまで、その莫大な費用を、参拝者のお供えによって、又自給自足で賄っておられるのです。

「内外の誤解も次第に解け、米大統領も明治神宮に参拝する。クリスマスの日、バチカンに詣でる人は三十万だが、正月に三百万の人が明治神宮に詣でる。」

安倍晋三首相は伊勢志摩でサミットも開いた。伊勢神宮の社頭に立てば各国首脳も頭を垂れる。めでたいことだ。皇室の弥栄を祈り、即位の式典が神々しい伝統に則って行われることを切に願う。」

ということとは、神道とは日本人の当たり前の心情そのものなのです。つまり、「神道とは何か」と聞かれたら「日本人の当たり前が神道ですよ」と答えるのも良いでしょうし、或いは、「日本人の心を守っていくことこそが神道であり、日本には八百万の神様、そして各家のご祖先が存在し、自然と共生するのが神道、又實生教の源なのです。」とお話し下さい。

更に深く勉強し、『古事記』や各家の伝承について、そして各家の氏名の歴史といった事を、自分の言葉で話が出来るといことが大変重要であり、より神様、ご祖先の御心に近付くことが出来るものでございます。大切な事は、「神道とは、私達日本の、日本人の心の表れである」ということです。そう考えますと、信仰とは決して難しいものではなく、より身近に感じられるのではないのでしょうか。

どうぞ、頭の中で理解しまとめておいて、神道とは何か、實生教とはどの様な教えで、どれほど尊い教えであるのかを、教信徒皆様一人ひとりが広く世に知らしめるとい気持ちはお持ち頂きたいと存じます。

合同敬和会に参加して

今年は多数の

若い世代も加わりました

恒例の大阪近郊各地区合同敬和会が、一月二十六日土曜日午後六時から教会の修行殿にて七十二名が参加し開催されました。



青年層も加わり、修行殿にて和やかに。

初めに総合司会の羽田阪神地区世話人から開会の言葉があり、伊丹地区世話人長から、教主様をはじめ権現家の皆様のご臨席を頂いたことや、寒い中にもかかわらず、教信徒の皆様や今回は青年部からも多数参加して頂いたことにつきまして御礼を申し上げます。

今年天皇陛下の「御代がわり」が行われます大切な年であり、敬和会の発展とともに教信徒の発展と拡充に努めましようとの御教話を頂きました。

その後は、岸田総代様から乾杯の御発声を合図に新年会が開始されました。

まず食事を頂きながら、最初は、司会者とのジャンケン勝ち抜き大会、次にそれぞれ個性の？な絵が楽しかったお絵かきゲーム、なんとも微笑ましい叩いて被ってジャンケンホイヤ、今回初登場のイントロを朗読して曲名を当てるクイズ、なかなか出揃わなかったピンゴ、最後に皆様お待ちかねの教会長賞と一等二等三等賞品を、教会長様、教父様、副権現職様、少権現職



色々なゲーム、クイズで楽しく賑やかに。

最後に中谷総代様から万歳三唱の御発声を頂き、盛会のうちに開きとなりました。

副地区世話人長 木本順造

話「身曾貴之祓」祝詞講

ご教 — 「氣」を合わせて奏上 — 祭 並 月 (2月1日)

皆様こんばんは。本日は「身曾貴之祓」の祝詞の意味を、共々に再確認致しましょう。勿論、意味は分か

はじめに、「高天原に神留まり座坐す、皇睦神漏伎神漏美之命を以て、八十神に議り給いて百の神等を神集めに集め給いて。」とは、天上界である高天原に神様として存在しておられる、男性神の最初の神様、と女性神の最初の神様が、

はじめに、「高天原に神留まり座坐す、皇睦神漏伎神漏美之命を以て、八十神に議り給いて百の神等を神集めに集め給いて。」とは、天上界である高天原に神様として存在しておられる、男性神の最初の神様、と女性神の最初の神様が、

上すればご守護下さるわけですが、意味を理解して奏上されれば、より意義深く

その他の数多くの神様をお集めになり、議り事をなされた、ということなのです。

次に、「皇親神伊弉諾伊邪那再之尊、日向の橘の稔原に身曾貴祓いし時に産れさせ給いし祓殿の神、大神等、諸々の罪穢れを祓い給え清め給えと曰す事の由を。」

とは、皇室家のご祖先であり、この世のあらゆるものを生みだされた伊弉諾之尊と伊邪那再之尊の二柱の神様の内、妻である伊邪那再之尊が亡くなり、その穢れに触れた夫の伊弉諾之尊が、日向の橘の稔原という場所で祓き祓えをされたときに現れた祓えの神様、そしてその他の尊い大神様方、もし我々が触れてしまった罪穢れがあるならば、どうか祓い清めて頂きたいお願い

担ぎ手・お稚児さん募集中！〈春之大祭〉

参加費 無料

みんなでつくろう伝統行事

ほりえ神輿を かつぎましょう!

どしどしご参加ください。
かつぎ手大募集!!
大人も子供も集まれ。

堀江・新町の通学路安全、商売繁盛、町の健全発展を祈願します。

日時：4月14日(日)
午後1:30～巡行(受付：正午より)
集合場所：寶生教大阪本部
(西区北堀江3-10-11 電話06-6531-6722)
※お申し込みは、裏面項目に必要事項をご記入いただきFAXにてお願いします。

ハッピーの貸出し有ります。

お稚児さん大募集!

3歳位～8歳位の男女

大切なお子さまの健やかな成長をみんなで祈願致しましょう。

お稚児さん

稚児行列参加者 **募集中!**

●参加費：お一人様 5500円
※参加者50名様になり次第メ切らせていただきます。

幼い日の良き思い出に
稚児行列に参加しませんか

同時開催

ご予約・お問い合わせ
(詳しくは裏面をご覧ください)

寶生教 (※寶生教は神道です。)
西区北堀江3-10-11 HP <http://www.houseizan.or.jp>
電話：06-6531-6722

祝祭日には必ず国旗を掲揚しましょう

寶生教

国旗掲揚運動

申し上げます、という意味なのです。

最後の、「天津神、国都神、八百万の神等、許々太久之罪を法別て、玉垣清し淨くと祓い給えと、恐れみ恐れて白す。」

とは、日本のあらゆる、総ての神様、我々の知らず識らずに犯したる天津罪、国都罪をそれぞれ網羅して清めて頂き、更に、この空間をも祓い浄めて頂きたく、

恐れ多くもお願い申し上げます、という意味でございます。

この様な意味を理解された上で、声に出して奏上する事に意味があります。そして、御教祖が何故、祭典中に参拝者全員が祝詞を奏上する様伝えられたのか。それは、一人で奏上するよりも、参拝者全員が心を一つに奏上する方が、より神様に祈りが伝わるからなの

です。

しかし、唯々一斉に声に出せば神様に届くというものではありません。祭典を司る祭主と「氣」を合わせるといことが重要です。

目を閉じて祝詞を奏上しますと、「氣」は揃いません。祝詞の本を見ながらで結構ですので、御神前の祭主、祭員の後ろ姿に気を付けることで、「氣」が合っ

て参ります。

祝詞を声に出して奏上することで、空気が震え、うねりが出来ます。そのうねりが神様を揺り動かし、お徳を授けて下さるもの

でございます。

容易な事ではありませんが、祭主、祭員と共に、教信徒皆様「氣」を合わせることを意識して祝詞

を奏上し、神様により祈りが届く祭典奉仕を致しましょう。

本日は月始祭、ようこそご参拝下さいました。

教会行事

三月 一日(金)	月並祭	午後七時
三月 二日(土)	愛教婦人会総会	午前十一時半
三月 三日(日)	御本宮月並祭	午前十一時半
三月 八日(金)	御本宮遙拜式	午前九時
三月 九日(土)	修日	午前十一時、午後七時
三月 十日(日)	修日	午前十一時、午後七時
三月 十三日(水)	教祖祭	午後七時
三月 十五日(金)	名古屋地区敬和会 宝生会 (ZACC)	午後七時
三月 十六日(土)	月並祭	午後七時
三月 十六日(土)	西播教会修日	午後七時
三月 二十一日(祝)	春之祖先霊大祭	午後一時半
三月 二十四日(日)	祭典後、教信徒総会	
三月 二五日(月)	養老教会修日	午前十一時、午後七時
三月 二五日(月)	修日	午後七時
三月 七日(日)	月並祭	午後七時
三月 七日(日)	御本宮春之大祭 (大阪立番)	午前十一時半
三月 八日(月)	御本宮遙拜式	午前九時
三月 八日(月)	修日	午前十一時、午後七時
三月 九日(火)	修日	午前十一時、午後七時
三月 九日(火)	教祖祭	午後七時